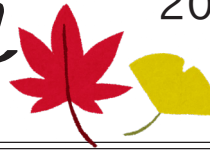




# いわず探検記



2022年10月号(Vol.8)  
地域おこし協力隊  
辻村 春香

シルバーウィークは台風の影響か、いきなり冷え込みましたね。  
「ストーブを出した」というお声もチラホラ聞こえてまいりました。  
残暑から急激な秋の突入。食べ物がおいしい、実りの秋となりましたね♪  
とは言え、これからどんどん寒くなって行きますが…。

## 告知

### 居場所づくり 開始。だけど、“居場所” ってなに？

9月から、五代獅子舞保存会の有志メンバーと居場所づくりを始めました。

五代町会の協力を得て、多目的集会所を月1回、開放してもらっています。

街を歩いていたら、「そもそも、“居場所” ってなんなの？」という声が…。  
(そんなわけもあり、9月の利用者はゼロでした！！)

コロナを機に、家に閉じこもってしまった方や孤独をひどく感じる方が増えています。

それは、世代や性別、職業は関係ありません。  
「前はみんなで集まって、一緒に〇〇してたのに…」  
ということ、ありませんか？

この〇〇には、おしゃべり、お茶会、手芸、お料理、勉強、運動など、さまざまな言葉が入ります。

そんな“失った場所”“お休みになってしまった場所”を改めてつくろうという試みが“居場所づくり”です。

できるだけ制約を作らず、みんなで集まれる場所、それが“居場所”となっていくのです。“個人のおうちだと、集まりづらい”そんな理由でも構わないのです。

これをきっかけに“居場所”を、みんなでつくっていきませんか？

※五代町会にお住まいでなくても利用できます。

  
**みんなの居場所 ステッフ**  


**参加できる人**

**居住  
地域**

**年齢**

**職業**

**すべて不問**

**過ごし方**

**良識の範囲内で  
自由**



**※危険を伴う行為は  
自粛ください。**



**利用料金**

**基本は無料。**  
**有料のワークショップにご参加の際は、  
その参加費をご持参ください。**

### 11月以降の「みんなの居場所 ステッフ」の予定

現在、日程調整中です。

11月以降も月1回をペースに、五代多目的集会所で実施する予定です。

「ワークショップ等のきっかけがないと行きづらい」という方もいらっしゃるの、事前申込みが必要なワークショップ・当日参加可能なワークショップなど、メンバーで頭を悩ませながら企画も練っています。

詳細が決まりましたら、別途お知らせするので、チェックお願いいたします！

“誰でも気軽に行ける場所”“ざっくばらんにおしゃべりできる場所”等を目指しております。  
ちょっとでも興味のある方、覗きにいらしてください。

# アイ&ベニバナの生育

## ① アイ（藍）の成長

藍は8月末の生葉染めのワークショップで使った茎を水に挿していたら、1週間で根を張りました。

「もしかしたら、このまま土に挿したら増殖できる？」と淡い期待を抱き、畑に移植。

ひと月経過。しっかり根付き、葉を茂らせ始めました。そして、藍の花も開花。昨年よりだいぶ早い開花でした。今年は増殖株で2番刈もおこない、藍葉のストックをためることができました！

すくも（染）作りできる分量が集まるでしょうか・・・？何とかチャレンジしたいと思っているのですが…。



茎からの増殖に成功したアイ。

9月初めに裂いたアイの花。

## ② アイの染料づくり（「沈殿藍」実験）

と・こ・ろ・が、アイの染料は「すくも（染）」と呼ばれる状態にするのが一般的ですが、個人が手を出すには時間と設備が問題になります。

すくも加工に3か月。アンモニア臭がセットでついてくる…。

なかなかハードルが高いです。

そんなわけで、書籍を見ながら、もう一つの方法「沈殿藍」を作ってみることに。

月末に仕込みましたが、1日2日でできると本には書いていたのですが、うまくいかず。

失敗に終わりそうだったので、少し手を加え、様子を見ることにしました。

10月にまたがって、数日、経過観察中です…。

どうなることやら…。



アイの葉を煮出す。



アイの生葉ジュースを別でつくる。



煮出し液にジュースを投入。



石灰を投入。



何度も攪拌してから寝かす。（沈殿を待つ）

## ③ ベニバナ（紅花）

花を摘み終わった株をそのまま畑に放置し、枯れるまで畑に。

しっかりと水分が抜けたところで、刈り取り。タネ採りして、来年に備えます。

購入時のタネの袋をみると「ドライフラワーにピッタリ！」という記載が…。

確かに、きれいな形で立っていますし、崩れない。

また、ベニバナは漢方では「コウカ」という生薬。血行促進や婦人病に効く、とネット情報。

料理にちょっと振りかけたり、お茶として利用できるそうです。



摘み取ったベニバナの花びら。これが「コウカ」と呼ばれる生薬。



ベニバナのドライフラワー。



タネはこんな感じ。

# 畑のこと

固定種とは「代々同じ形質が受け継がれている種」のこと。  
「昔から続く在来種や伝来種は固定種の一つ」。  
(「」部分は、小林種苗(株)のホームページから引用)

## ① 固定種野菜のタネ採り

“ひろさき未来創生塾”の塾生として、弘前市内外の野菜づくり初心者を集め、みんなで一緒に畑づくりにチャレンジしている葛原地区の畑。

9月は、ちょっと目を離れたすきに、固定種のキュウリ(=神奈川県に先祖を持つ)が鈴なりに。しかも、収穫タイミングを逃して、黄色!

固定種なので、黄色くなっても十分おいしく食べれるキュウリなのですが…。

せっかくなので、タネ採り方法を畑の仲間みんなでも共有し、自宅で試してもらいました。

仲間の1人・自衛官の男性は、「キュウリのタネ、言われたとおりやってみたら、膜が取れてタネだけ取り出せました!! …臭かったけど」と苦笑いしながら報告してくれました。



食べごろのキュウリ。

タネづくり態勢に入った、黄色いキュウリ。  
これでも十分おいしく食べれる。

タネは、ほかのウリ科と区別がつかない。ウリ科はタネが似すぎ!!

## ② 岩木地区の固定種について

岩木の固定種野菜について、有名なものは、兼平地区のズキイモ(里芋)と赤ニンニク。

それ以外のお野菜は情報が乏しかったのですが、7月~9月にかけて、ある地区のキュウリの情報がチラホラ聞こえてきました。

その地区にお住いの方からお話を聞いたところ、数年前までは育てていた方がいらしたそう。タネが残っているかは、わからないということでした。

キュウリ以外の在来の野菜の情報も探しているのでも、情報お持ちの方、ご連絡いただくと嬉しいです!

## ③ 畑に薬草を発見!

和ハーブの資格を取った時、「和ハーブって、結構どこにでもあるのよ~」と講師からうかがってました。

半信半疑でしたが、昨年、“カキドオシ”を一町田で借りている畑で発見。

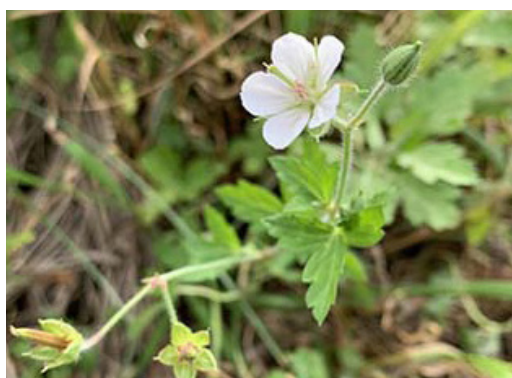
そうしたところ、同じ畑で“ゲンノショウコ”も発見できました。

(実は、葛原の畑にもゲンノショウコを見つけることができました。)

少しずつ、野草に目が慣れてきた感じ…。

“カキドオシ”“ゲンノショウコ”は、いずれも全国的に、歴史的に薬草・日常食として使われてきた野草です。

あなたの家の近くの畑・空き地にもあるかも…?



←一町田の畑で見つけた  
ゲンノショウコ。葛原の畑でも  
見つけました。  
東北では白花、西日本では赤花  
がつくそうです。

こちらは一町田の畑にて。 →  
昨年見つけ、「今年はどこに…?’  
と思っていたカキドオシ。  
昨年より使っている面積が広い  
ので、消失したかと不安でした。



## ◆◇ 編集後記 ◇◇

早いもので、地域おこし協力隊の活動も、折返しに入りました。  
残りの1年半、悔いのないように活動したいと思います。  
しかし、ときどき、突っ走りすぎ。誰かが止めてくれないと、暴走しがちになるかもしれません。  
温かいお叱りの声もうかがいながら、応援してくださる地域の方にお返しができるように、一生懸命に活動していきたいと思ひます。

# WANTED

## 空き家を探しています！

探しています！



岩木地区に農業体験等のできる拠点を作りたいと考えております。  
地域内外の人と交流できるスペースとしたいので、空き家を探しています。

(物件への要望)

- ・ 退任後の居住を見据え、賃貸契約にて貸していただける物件。
- ・ 部屋数多め (5室以上あると嬉しい)。
- ・ リフォーム・リノベーションをしてもよい。
- ・ 車庫や倉庫があれば、なお嬉しい。
- ・ 立地：岩木地区内で、“少し足を延ばせば” 里山や畑に行ける場所。
- ・ 賃料やその他条件⇒相談させてください。

「空き家になる予定があつて…」 「親せきに管理まかされているけど…」 「1部屋だけは立入禁止にしたいけど、それ以外は使ってもらっていいんだけど…」 など。

**情報があれば、まずはご一報いただき、お話しさせていただきたく思ひます！**

## 梅や柿などの果樹

岩木地区内を歩いていると、放置された果実をよく目にします。  
庭やリンゴ畑の隅に植えたんだけど、さまざまな理由で収穫されず、放置されている果実たち。

一方で、市街地に住んでいる方からは「梅が手に入るなら、梅干しを漬けてみたい」「庭に柿があるなら、干し柿作りにチャレンジしたい」という声を聴きます。

そこで…、その2者を結びつけるワークショップを企画したいと考えています。

“手が回らなくて採りきれしていない果実 (梅、杏、プルーン、柿など)があつて困っている方”を探しています。

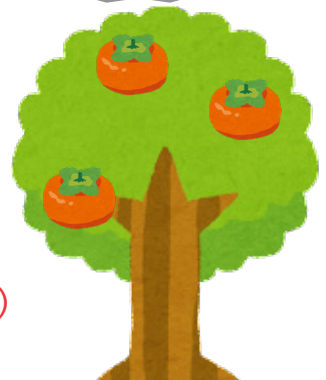
果実を分けていただけたらな、と。

枝切り等必要であれば、方法を教えていただきながら、作業もしたいと考えています。

最終的に、収穫物・加工物を何割かお返しする形で、お礼する予定です。

「提供してもいいよ！」という方いらっしゃれば、お声がけください。

“果実採りたい (隊)をつくりたい…”



連絡先  
岩木総合支所 総務課

地域おこし協力隊 辻村まで

Tel: 0172-82-1621

Mail: har-tsuji@city.hirosaki.lg.jp

もろもろ情報  
お待ちしております！



「いわき探検記」の直近のバックナンバーは、市のホームページからご覧になれます。  
古いものは、岩木庁舎でファイルしております。ご覧になりたい方は、岩木庁舎まで。